

セグメントの概況 輸送用機器・鉄構事業

Transportation Equipment and Steel Structure

業績ハイライト

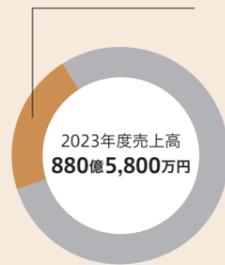
輸送用機器におきましては、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、無人搬送装置、貨車などの売上があり、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、LNGトレーラの売上が前期に比して増加しました。

鉄構におきましては、佐世保道路須崎橋、東海環状員弁川橋、飯沼川高架橋などの売上があり、これらの道路橋の売上が前期に比して増加しました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は18,422百万円となり、前期比18.6%増加となりました。

売上高構成比

売上高構成比 **20.9%**
184億2,200万円



2023年度売上高
880億5,800万円

過去3か年の売上高・営業利益



事業内容[主要製品]

輸送用機器事業は、タンクローリ、タンクトレーラ、タンクコンテナ、貯槽、大型陸上車両(キャリア)、無人搬送装置、貨車などの設計・製造・販売を行っています。LPガスなど資源・エネルギーを運ぶタンクローリをはじめ、製鉄所構内で大型コイルなどの重量物製品を運搬するキャリアや無人搬送装置、鉄道貨物輸送を担う貨車など、どの製品も社会インフラにはなくては



大型無人搬送車



民生用バルクローリ

ならないものです。お客様に密着し、様々な用途での細かなニーズに最大限に応えることで、いずれの製品も高いシェアを誇っています。特にLPガスを集合住宅等に配送する民生用バルクローリのシェアは70%を超え、製造台数は業界ナンバーワンです。

鉄構事業は、道路橋・鉄道橋などの鋼橋の設計・製造・架設を行っています。古くは明治時代から現在に至るまで、全国3,000橋以上の橋を架け、レインボーブリッジや明石海峡大橋などの長大橋の工事にも参画、日本の社会の発展に貢献してきました。近年では、東海道新幹線の大規模改修工事にも参画し、その施工技術を道路橋の補修にも活かしています。社会インフラの老朽化対策が重要視される中、今後益々需要の高まる補修・保全事業にも注力しています。



明石海峡大橋

LNGタンクセミトレーラのモデルチェンジ

R&D review

当社の主力製品の一つであるLNGタンクセミトレーラのモデルチェンジを行い、国内最大積載量14.2トンを実現しました。一般的に積載量と車両の走行安定性はトレードオフの関係にあるため、積載量を確保するためにタンクを大きくすることで、車両の安定性が損なわれてしまいます。そこでタンク構造の抜本的な見直しと、当社独自のサスペンションの採用により、車両の走行安定性を確保し、車両全長はそのまま積載量アップを実現しました。今後も改善、改良を継続することにより、お客様の要望にお応えできる製品作りを通じ、安心安全なエネルギー輸送に貢献していきます。



LNGタンクセミトレーラ

大型陸上車両(キャリア)の無人運転化

R&D review

構内輸送の運転手不足の課題対応策として大型陸上車両(キャリア)の無人運転開発に着手しています。

これまで実用化へ向け、様々な試験の実施、検証を進めてまいりましたが、お客様のニーズである低コストでの実現へ向けた検証も併せて実施しています。

実際の車両への実装、構内輸送の現場への早期投入を目指し、商品化に注力してまいります。



西知多道路東海JCT・H-1ランプ橋

本工事は橋長158mの鋼桁の製作、架設工事であり、伊勢湾岸自動車道と中部国際空港を結ぶ西知多道路を整備する「国道247号 西知多道路(東海JCT)改築事業」の一部です。

南側は供用中の自動車道に、北側は架空線や化学工場に隣接する狭隘なヤード条件の中、無事故で施工を行ったことに加え、学生向け現場見学会の実施など地域貢献活動も評価していただき、工事成績は高得点を獲得することができました。

本件の高得点により今後の入札で加点が得られます。西知多道路整備事業は今後も多くの工事発注が見込まれるため、引き続き受注に向けて注力してまいります。



西知多道路

橋梁長寿命化

R&D review

橋梁の老朽化対策が叫ばれる中、橋梁の長寿命化技術として化成品メーカーと協力し、超耐候性ふっ素系フィルム「NSアンチラストフィルム」を開発しました。鋼橋塗装面に貼付することで紫外線・飛来塩分等による塗膜劣化を防止し、橋の長寿命化を実現します。

本技術を使い、社会インフラの維持に貢献していきます。

